

湘南日独協会 忘年パーティご案内

恒例の忘年パーティの日程が決まりました。会場は昨年と同じホテル法華クラブ・レストラン「ヴェルデ」です。今回はドイツ人の参加者が数名予定されています。お誘い合わせお出かけ下さい。

お楽しみ抽選会もあります。

★日時 12月28日(土)午後6時～8時

★会場 ホテル法華クラブ藤沢2F

レストラン「ヴェルデ」

★会費 4,000円(但し飲み物は別途各自負担)

★申込み 同封の葉書で申込みを受けつけます。どうぞご予約下さい。この忘年パーティにつきましては非会員も同額で参加できます。この機会には是非お声を掛けてみてください。

湘南日独協会に合唱団が発足



湘南日独協会では「ドイツ語講座」や「ドイツ料理教室」が始まり、会員同士の友好の輪が広がってきています。先の5月例会でデュッセルドルフ男声合唱団の素晴らしい演奏を聴いて、会員の有志で合唱を始めようと練習が始まりました。忘年パーティで初演奏が予定されています。同好の方はご連絡下さい。 水谷妙子 TEL 045-895-6845

湘南日独協会 2002～3年度活動予定

■ 12月28日(土)忘年懇話会

日時 12月28日(土)午後6時より

会場 ホテル法華クラブ藤沢2Fレストラン

2003年には湘南日独協会創立5周年を迎えます。

■ 1月25日(土)第25回例会(定例総会) 13:30～

演題 ジーメンスと江ノ電の100年

講師 代田良春氏(元江ノ島電鉄取締役鉄道部長・江ノ電社史編纂室長)

会場 ホテル法華クラブ藤沢2Fロータスホール

■ 2月22日(土) 会員懇話会 18:00～

会場 ホテル法華クラブ藤沢2Fローズルーム

■ 3月22日(土)

演題 ドイツにおける環境問題への取り組み(仮題)

講師 織田正雄氏(財団法人日独協会常務理事)

会場 ホテル法華クラブ藤沢2Fロータスホール

■ 4月26日(土)会員懇話会 18:00～

会場 ホテル法華クラブ藤沢2Fローズルーム

■ 5月24日(土)

演題 未定

講師 未定

会場 ホテル法華クラブ藤沢2Fロータスホール

■ 6月28日(土)会員懇話会 18:00～

会場 ホテル法華クラブ藤沢2Fローズルーム

湘南日独協会会報(Der Wind)

VOL 4. NO. 6. 通巻24 発行 2002.11.23.

湘南日独協会

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Shonan

事務局: 〒251-0055 藤沢市南藤沢8-9 中丸ビル2F

TEL0466-26-3028 / FAX0466-27-5091

湘南日独協会 会報

Der Wind

(風)

湘南日独協会 第24回例会

講演会

「すべては一通の 恋文からはじまった」

講師からのメッセージ

第一次世界大戦たけなわ、生還を期し難い若者が、激戦の戦場から恋人にあてた一通の手紙。これが旧制高校時代のドイツ語試験問題に出た。この手紙の主は大学で、何を学ぼうとしていたのか?—これこそ定年後70才を前にして、私にドイツ留学を決心させた原点なのである。そして予期せぬ展開が日独の懸け橋に……。

講師 真野直司氏

元株ケンブリッジ・リサーチ研究所

チーフコンサルタント

日時 11月23日(土) 13:30～15:30

会場 ホテル法華クラブ藤沢2F

ロータスホール

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

★湘南日独協会後援★

Christmas

ファミリーコンサート

“くるみ割り人形のお話し”

バレエ&おはなし&音楽



主演の寺島まゆみ・ひろみ姉妹

日時 12月21日(土) 開演18:00 終演19:30

会場 茅ヶ崎市民文化会館大ホール

出演 バレエ 乃羽バレエ団、乃羽バレエスクール

音楽 湘南エールアンサンブル

指揮 中島良能

主催 ルシュマン企画

共催 乃羽バレエ団、湘南エールアンサンブル

後援 湘南日独協会、小田急レディスクラブ

江ノ電沿線新聞社

チケット 3,000円(会員2,500円) 全席自由

湘南日独協会の会員の皆様はチケットを会員
優待価格2,500円でお求めいただけます。

返信ハガキで事務局へお申し込み下さい。

湘南日独協会事務局

TEL0466-26-3028 / FAX0466-27-5091

湘南とドイツ③

江ノ電とシーメンス

会員 吉田克彦

今年、江ノ電は開通100周年を迎えました。江ノ電より先に鎌倉～藤沢のほぼ同じ区間の施設免許を受けていた鎌倉鉄道株式会社は軽便蒸気鉄道で計画をすすめていましたが実現にいたらず、その後に電気鉄道として計画した江之島電気鉄道が実現したのです。従って七里ヶ浜に軽便鉄道の汽笛が響くことはありませんでした。

日本における電気鉄道の歴史は、明治23年4月に東京・上野で開かれた第3回内国勧業博覧会において東京電灯の購入した米国製の電車がデモ運転をしたことに始まります。これ以後、蒸気機関車全盛期の中で徐々に電気鉄道が浸透していきました。

明治28年1月 京都電気鉄道

明治31年5月 名古屋電気鉄道

明治32年1月 大師電気鉄道

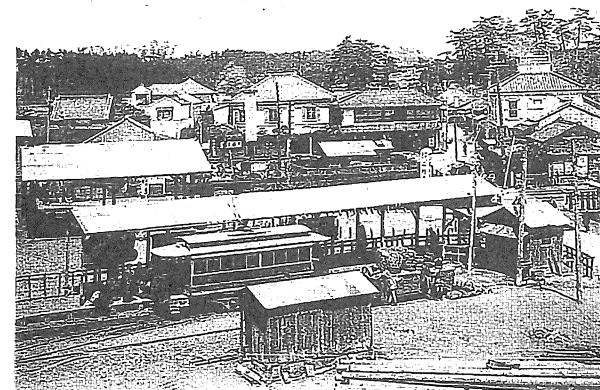
明治33年3月 小田原電気鉄道

明治33年5月 豊州電気鉄道

明治35年9月 江之島電気鉄道

(現江ノ島電鉄・通称「江ノ電」)

江ノ電は6番目ですが一世紀を経た今、江ノ電以前の電気鉄道はすべて廃止または廃線となっており、現在では江ノ電が最古参となっています。(大師電気鉄道は現在の京浜急行大師線となっていますが当初の多摩川沿いではなくなっています)ここで注目されるのは日本の電気鉄道が当初から米国製を導入していたのに対して江之島電気鉄道ではシーメンスの技術を日本で初めて導入していることです。当初四両の電動客車が新造されましたが電動機はじめ電装機器はシーメンス製でした。従って集電装置もトロリーポールでなくて、シーメンスのビューゲルを使用していました。車両ばかりでなく、片瀬に建設された発電所の75キロワットの直流式発電機も



江ノ電開通当時の藤沢停留場付近

(シーメンスの電装が施された電車)

シーメンスの製品でした。当時の鉄道時報によれば「…発電所の…坪数は21坪、発電機は100馬力にして…配電盤は一面にて独逸製の大理石にて製作し、配電盤と饋電盤とに別れたり…」と書かれていて発電所の付帯施設もシーメンス製であったことが伺えます。また、明治41年12月25日に片瀬地区に湘南地方で初めて電灯が灯りましたが、電球はやはりシーメンスから3,000個ほど輸入したものだったと言うことです。

江ノ電を嚆矢として翌年には宮川電気(後に伊勢電気鉄道)などにもシーメンスの技術を導入した電車が走り始めまています。では何故、江ノ電が当時日本で主流だったアメリカの電車でなく、ヨーロッパの電車を導入したのでしょうか。その理由を直接語ってくれる資料は今のところ見あたりませんが、世界で初めて電車を走らせたシーメンスが、その威信に掛けて売り込みを計ったのではありますまいか。ちなみにシーメンスは明治31年に日本支社を置き、明治34年1月、江ノ電の機器の競争入札に参加して、見事に落札しています。そういえば最近ではJR長野新幹線「あさま」にシーメンスの駆動制御装置が採用されたと聞きました。